

# ひかり

Kikuna  
Memorial  
Hospital  
News Letter

vol.66

2012.1

ご自由にお持ちください

- 新しい年を迎えて
- 新年特集！
  - ・ お酒との上手な付き合い方
  - ・ 冬の適度な運動
- みなさまの声にお答えします。
- おくすりのはなし vol.04
- 看護部だより vol.51
- 頼れる!! まちの医療機関
- KMH NEWS
- KMH TOPIC

# 新しい年を迎えて



菊名記念病院  
理事長 山本 登

明けましておめでとうございます。

昨年7月から当院は開設満21年目に突入しております。

地域医療支援病院に認定され、1年前に発足した新執行部を中心に超急性期医療に邁進しようとした矢先に内科系医師の退職が相次いで、各方面にご迷惑をお掛けしてしまいました。

当院の各診療科は所謂専門家集団で構成されており、6000台を超える救急車受入が診療科の狭間にある疾患群を中心に内科医の過重負担を齎してしまった事が要因と考えられます。その反省から「総合診療科 + 救急科」を中心とした「指導医 + 若手医師団」の診療チームを数班編成して急性期医療対応の大部分を担当する事とし、各科専門医は診療チームに対する補完(コンサルテーション)と専門領域の診療に当たる体制を構築する事と致しました。

結果として「早く良くなって、早く帰って頂く」事で在院日数の短縮も齎されると考えられ、昨年末より人的補充に努めております。唯でさえ(良い)医師不足の環境において、「遣り甲斐はあってもかなりハードな領域」に意欲を持って参加してくれる医師の募集にはかなり難渋し、時間を要する事が予想されますが、当院の理念・目標を達成するためには超えなくてはならないハードルと認識し、真摯に取り組んで参りたいと思っております。

当院の関連施設である「大倉山記念病院」、「新横浜リハビリテーション病院」、「菊名記念クリニック」、「老人保健施設(レストア川崎・レストア横浜)」はもとより、当院にとっての前方・後方の連携を担って下さる地域の各医療機関の皆様方とも更に緊密な連携を保ちつつ、一日も早く新たな体制を構築し安定化を図って参りたいと存じます。

諸事情ご賢察の上、本年もご理解・ご協力・ご支援の程、宜しくお願い致します。

## 神奈川県 保健衛生表彰 にあたって

此の度、神奈川県知事から平成23年度の保健衛生部門での表彰を戴きました。個人名での受賞ですが、受賞理由は永年に亘る保健衛生(医療)部門での貢献を評価して下さいました事の様ですが、以前の横浜市長からの救急医療部門での表彰と同様、「菊名記念病院とそこで働く全職員」が表彰されたものと理解致しております。医療機関に従事する者は、専門職に限らず全ての職種において、日々の業務がそのまま「社会貢献」に繋がる事になり、他の人々の生命・健康を預かるため厳しい職場環境ではあるものの、遣り甲斐・充実感のある職場で、当然のことながら倫理・自律が求められております。この表彰がその事を再認識し、日々研鑽を積んで行くための新たなきっかけになればと願っております。



院長  
中山 宏幸

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は東日本大震災、東京電力福島原発事故という未曾有の大災害がおこりました。さらには相次いだ台風災害など自然の脅威を改めて感じた年でした。被災地はまだまだ復興には程遠く、われわれ全国民の被災地への継続する暖かい支援が必要です。

今年は2年に1回の診療報酬の改定の年であり、また6年に1回の介護報酬との同時改定の年でもあります。2010年は10年ぶりのプラス改定でした。500床以上の大規模病院はかなり大きなプラス効果があったようですが、200床規模の私どもの病院群には大きなプラス効果はありませんでした。今年の診療報酬の改定率は、昨年末に0.004%増とすることが決まりました。今後は、さらに配分をめぐる議論が中医協でなされます。東日本大震災後のことでもかなり厳しい結果でしたが、結果に一喜一憂せず、私どもはこれからも病院の使命に則り、医療の質・医療サービスの質の向上に努め、同時に経営の質の向上の両立を図り実現しなければならないと思っております。

私どもの病院は、一昨年地域医療支援病院を取得し、地域との連携をより強化しておりましたが、昨年の後半より内科医の不足の事態が生じ、患者様、地域の連携医療機関の皆様には多大のご迷惑をお掛けし、大変申し訳ございませんでした。まだ十分ではありませんが、少しずつ解消に向けて注力しているところです。現在は、救急車の受け入れ等は以前のレベルまで回復しております。また病院の建物自体も開院後20年たち昨年の9月より改修工事を行っております。患者様、近隣の皆様、連携医療機関関係の皆様には色々ご迷惑・ご不自由をお掛けし大変申し訳ございません。工事が終われば、リフレッシュした体裁で引き続き地域の医療へ貢献していきたいと考えております。

今年も地域の皆様が必要とされる病院を目指して職員一同力を合わせ身を引き締め頑張りたいと思っております。連携医療機関の諸先生方には、本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



事務長  
飯田 浩一

新年あけましておめでとうございます。平成24年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、東日本大震災を始め、世界中が多くの災害に見舞われた一年でした。当院におきましても、福島県へ災害支援チームを派遣するなどの支援を行いました。復興にはまだまだ時間を要するため、今後も出来る限りの支援を行って参りたいと考えております。

当院は、昨年創立20周年を迎えました。開院より救急医療を中心として地域のニーズに応えられる「質の高い医療」を提供するべく職員一丸となり取り組んでまいりました。

現在では、横浜市の救急拠点病院として、年間6,000台の救急搬送車を受け入れ、病床稼働、手術件数につきましても年々増加しております。今後、更に受け入れ態勢を充実させ、より質の高い医療を提供するために、医療技術の向上と施設面の整備は命題であり、昨年末より院内外の大規模な改修工事を行っております。

皆様には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、改修は本年末までを予定しており、病棟の整備、手術室増設等を予定しております。

又、地域医療支援病院としても、この医療圏における高度急性期病院として中核的な役割を担っております。近隣の病院をはじめ診療所の先生方とは密接な連携関係を持ちつつ地域完結型医療を目指して参ります。

本年も職員一同、心をつなげて地域医療に邁進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

# お酒との上手な付き合い方

院長 中山 宏幸

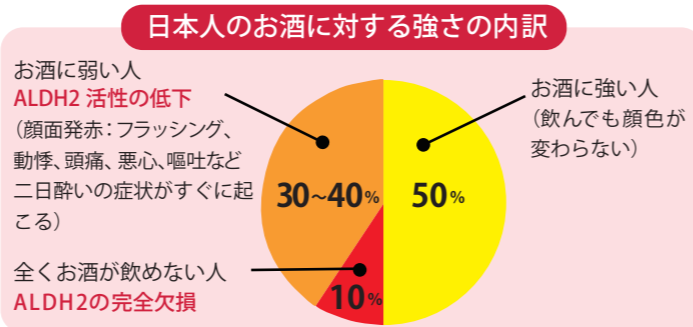
年末年始はお酒を飲む機会が多いと思いますが、今回はお酒との上手な付き合い方について述べてみたいと思います。「酒は百薬の長」ということわざがあるかと思えば、「酒は百害あって一利なし」という言葉もあり、酒に対する接し方により良くもなり悪くもなります。実際、適度の飲酒（日本酒換算1合：純エタノール換算約20g）は内外の報告でも「Jカーブ」といって、全く飲まない人や、日本酒に換算して3合以上飲む人よりも死亡率が低いとされています。HDLの上昇や虚血性心疾患の抑制効果が報告されています。しかし飲みすぎると（1日あたり3合以上）アルコール性肝障害を誘発するだけでなく、総死亡、心疾患死亡、脳梗塞死亡、がん死亡、消化器疾患罹患、糖尿病罹患などのリスクが上昇すると言われています。このことから、飲みすぎない、適度の飲酒が肝要です。

## アルコールの代謝

飲んだお酒は胃および空腸で1~2時間で速やかに吸収されます。吸収されたアルコールは腸管から門脈に入り肝臓で代謝されます。肝細胞に吸収されアルコール脱水素酵素、ミクロソームエタノール酸化系、カタラーゼ系という3種類の経路でアセトアルデヒドに代謝されます。通常はアルコール脱水素酵素が7~8割の代謝を担当して、残りを他の2つの経路で代謝します。アセトアルデヒドは有毒でアセトアルデヒド脱水素酵素(ALDH)で分解され最終的に水と二酸化炭素に分解されます。分解するのに要する時間は3時間ほどといわれています。ALDHの主体はALDH2ですが、この酵素がお酒に対する強さを規定しています。

## アルコール性肝障害について

アルコール性肝障害は、長期にわたり過剰の飲酒（日本酒換算で1日3合~5合以上）を原因とし、アルコール性脂肪肝→アルコール性肝線維症→アルコール性肝硬変症へと進展していきます。アルコール性肝炎はこれら慢性のアルコール性肝障害に合併し、元々お酒のみの人が急に大量に飲むようになって起こる病態です。腹痛、発熱、黄疸、高度の肝機能異常が出現し、重症型になると予後が不良です。女性の肝障害は男性の約2/3のアルコール量・期間で起こると言われていますので、女性は少なめに飲むことが必要です。アルコール性脂肪肝やアルコール性肝線維症はほとんど自覚症状がありませんが、アルコール性肝硬変症へ進むと胸部のクモ状血管腫など色々臨床症状が出現してきます。さらに進むと黄疸や腹水が出現してきます。肝硬変症の段階であっても、完全に禁酒できれば5年生存率は80%以上ですが、飲酒を継続すると5年生存率は30%以下と不良であり、いかに完全に禁酒できるかが非常に重要です。



酵素活性の低い人は(フラッシャーといいますが)、アセトアルデヒド代謝に時間がかかるので体がアセトアルデヒドに曝される時間が長くなります。このためフラッシャーの人は口腔、咽頭、食道の発癌率が著明に高まると言われていますので適切な飲酒量を守ることが必要です。

厚労省の「健康日本21」のガイドラインでも示されていますが、

- 1日エタノール換算20gまで (日本酒1合180ml、ビール中瓶1本500ml、ウイスキーダブル1杯60ml、焼酎1合180ml、ワイングラス2杯程度)
- 2女性や高齢者は少なめに
- 3フラッシャーの人も少なめに
- 4食事と一緒にゆっくり飲む
- 5依存症にならないために、寝酒は控える
- 6週に2日は休肝日を設ける
- 7入浴、運動前はアルコールは控える
- 8妊娠授乳中はアルコールは控える
- 9アルコール依存者においては適切な支援のもとに完全断酒が必要である

以上のような、「節度ある適度な飲酒」が勧められます。



程よいお酒は、人々のコミュニケーションを円滑にする重要なツールでもありますし、人生の良きパートナーでもあります。上手なお酒との付き合い方をして頂きたいと思います。

# 冬の適度な運動

お正月はいかがお過ごしでしたか？ 寝正月や暴飲暴食を繰り返して、年始早々暗雲が立ち込めている方もそうでない方も、今一度体重を確認してみてください。

ダイエットというと食事療法と運動療法が基本となります。『運動』→『大変・面倒』となかなか行動に移せない方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

散歩程度の運動なら比較的行きやすいですが、「寒いから」「長時間歩く時間も気力もないから」と既にさじを投げかけている方に自宅で行えるストレッチをご紹介します。

## ストレッチの効果

- 柔軟性アップ、関節可動域の拡大
- 筋肉の緊張を緩める
- 血液循環の改善
- 疲労回復
- 副交感神経を優位にしリラックスを得る



リハビリテーション科 主任 吉川 拓也

筋肉は人体最大の熱産生器官です。基礎代謝が上がれば、消費カロリーは増えます。硬くなった筋肉がほぐれて伸び縮みが容易になると同じ動きをしても、たくさんの筋肉が大きく動くようになり、結果として基礎代謝が活発になります。血流がよくなると酸素の取り込み量が増える為、基礎代謝が上がります。

また、リンパ液の流れを改善させ、セルライトが出来にくい体質にもつながります。

## attention ストレッチの注意点

- ⚠ 息を止めずに吐きながら行う。
- ⚠ 反動・弾みをつけないで20~30秒間ゆっくり行う。
- ⚠ 痛みを感じない程度に出来る範囲で行う。
- ⚠ 無理をしないで力を抜きながら行う。

モデル:鈴木麻美 和田琢也 (リハビリテーション科)



横向きに寝て、上になった側の膝を曲げ、同側の手で足首を持ち太ももの前面を伸ばします。

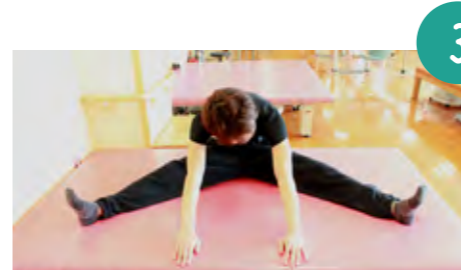
**point** 股関節が曲がってしまうと前面の筋肉が十分には伸ばされません。出来るだけ膝が前にいかないようにしてください。



長座位(膝を伸ばした状態での座位)で、上半身を前に倒します。手を遠くに着くように心掛けてください。その姿勢がとれない方は、壁に背中・お尻をピッタリとつけた状態で膝を伸ばすようにしてください。

⚠ aができない方はbにトライ!

**point** 壁とお尻の間に手が入らないくらい密着させてください。膝が外に開かないようにしましょう。



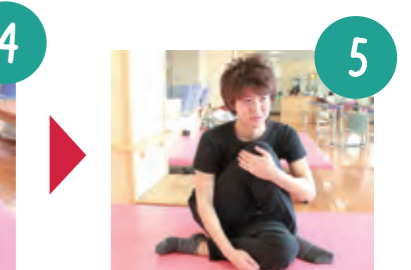
②の姿勢から両足を出来るだけ開いて座り、上半身を前に倒します。

**point** 両膝を伸ばすようにしましょう。



③の姿勢から上半身を横に倒します。倒す側と反対の手で、倒した側の足を触るようにしてください。

**point** おへそが下を向かないよう正面を向いて行ってください。



膝を抱え込むように胸へ引き寄せてください。

**point** 膝を立てている方の足は出来るだけ膝を曲げ、体の近くに足をつけてください。

# みなさまの声にお答えします。

2011年はさまざまなお意見が寄せられました。改善、対応しました内容の一部をご報告いたします。

## 売店の利用時間を長くして欲しい

「売店の利用時間を長くして欲しい」とのご要望を頂きました。ご要望を頂き病院として2月15日より下記のとおり営業時間が延長になりました。尚、営業時間につきましては、今後のご利用状況並びにご要望の状況にてご対応させて頂きたいと考えております。

### 売店営業時間

月～土 8時～16時30分 → 8時～18時  
日・祝 10時～16時 → 10時～16時

## 清掃の質を向上させてもらいたい

清掃の質並びに清掃職員の対応の不手際、誠に申し訳ございませんでした。患者様やご家族様から投書箱・退院時アンケートにて頂戴しました内容と、病院職員の視点からも改善内容を洗い出し、清掃委託業者に業務改善を依頼しました。現在、清掃に関する苦情等は殆どなくなりましたが、更なる質の向上とサービスの提供を目指し、ご意見ご要望等ございましたら、各病棟・外来に設置しております投書箱や退院時にお配りしておりますアンケートにて御記入ご投函ください。

## 携帯使用エリアができた事が非常に嬉しい

「病院内で携帯電話を使用できる場所を設置して欲しい」というご要望を多数頂戴した中で、病院として検討させて頂き携帯使用エリアを病院内で4箇所設けました。携帯使用エリア設置場所につきましては、W棟1階西玄関待合・W棟2階ICU待合・W棟3階A病棟デイコーナー・W棟4階図書コーナーの4箇所御利用頂けます。今後とも御利用される方々のご理解とご協力をお願い致します。

## 受付職員の身だしなみ、電話対応が悪い

対応した職員の不手際、大変失礼致しました。病院として、受付以外にも患者様と対応する1人1人が病院の顔であるという自覚を持ち、患者様と接することのできるよう指導しておりますが、このようなご意見を頂き誠に遺憾に感じております。1人がそのような対応をしてしまうと病院全体の印象に繋がることは重々理解しておりますので、定期的に接遇マナーの講習を行い実践し、より善いサービスが提供できるよう精進致します。

## 床頭台の料金を見直して頂きたい

「床頭台の料金が高い」というご意見を多数頂戴致しました。この度、地デジ移行に伴い料金設定の見直しをさせて頂きました。ご迷惑をお掛けした患者様には心よりお詫び申し上げます。今後とも患者様により善い入院環境を提供できるよう、患者様の声にお応えしていきたいと思っております。

## 床頭台テレビ・冷蔵庫(カード式)のご利用案内

- ・デイルームの自動販売機にて1枚につき2000円で購入できます。
- ・DVD、インターネット、メールもご利用できます。

## ご利用料金

- ・テレビ：600分/1000円  
(36秒につき1度ずつ減算されます)
- ・冷蔵庫：24時間/200円  
(200度数ずつ減算されます)
- ・残のあるカードは4階ロビーに設置してある精算機で精算ができます。
- ・領収書が必要な場合、使用済みテレビカードを添えて、病棟事務担当者(クラーク)までお申し出ください。

ご不明な点がございましたら病院職員へお声がけください。

## 医療サービス向上委員会

当院にご来院される方が安心して利用できるような病院作りを目指し、その具体案を検討・立案するため、月に一度各部署より代表者を集めて会議をしています。みなさまから寄せられたご意見をもとに、業務の質の向上や、設備の改善を実施しています。

## 杖ホルダーを設置して欲しい

「杖ホルダーを設置して欲しい」というご要望を頂戴致しました。病院として検討した結果、注射室・血圧測定器(E4フロア通路)・E4、W4男子小便器トイレに設置致しました。設置をした結果、診察室や救急外来室へも設置のご要望を頂きましたので、杖ホルダーを設置し対応させて頂きました。設置したことにより、患者様にも好評を得られております。今後も来院される方々に安心してご利用いただける環境を整備していきたいと思っております。



## ご意見をお寄せください。

院内各所にご意見箱を設置しております。お気づきの点がございましたら、是非ご利用ください。

当院薬剤師より生活に役立つ情報をお届けします。



# インフルエンザワクチンについて

おくすりの話  
vol.4

薬剤部  
武智 綾



この冬のインフルエンザの流行シーズンに備え、皆様はもうインフルエンザワクチンを受けたでしょうか？  
毎年この時期になるとインフルエンザの流行が問題となり、ニュースなどでもよく話題となりますが、意外とインフルエンザワクチンに様々な疑問を持っている方は多いのではないのでしょうか？そこで、インフルエンザワクチンに対する理解を深めるために、今回はインフルエンザワクチンについて説明したいと思います。

## インフルエンザについて

まずインフルエンザについてですが、A型またはB型インフルエンザウイルスが主に呼吸器に感染することによって起こる病気です。インフルエンザは伝染力が強く、毎冬のように短期間に集中して百万人単位で大勢の人が罹患するために、健康被害のみならず社会活動にも大きな影響を与えます。

特に、これまで人の世界で流行した事のないウィルスが、トリやブタの世界から人の世界に入って、ヒトからヒトへ感染するようになるもの（“新型インフルエンザ”）は毎年流行を繰り返す季節性インフルエンザと異なり、一般に多くの方が免疫をもっていないため、感染が拡大しやすく急速な世界的大流行（パンデミック）を起こす危険性があります。

## インフルエンザワクチンの予防効果とは

インフルエンザの予防効果について説明するにあたってインフルエンザにかかる過程について説明していきたいと思えます。

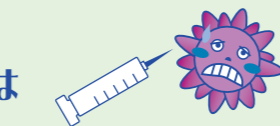
- まず、インフルエンザにかかる発端は、
- ① インフルエンザウイルスが体の中に入ってくることから始まり、
- ② 体内に入ったウイルスが細胞に侵入して
- ③ 増殖します（この状態を感染という）。ウイルスが増殖すると数日の潜伏期間を経て、
- ④ 発熱やのどの痛みなど、インフルエンザの症状が出ます（この状態を発症という）
- ⑤ 発症後、多くの方は1週間程度で回復しますが、中には前述したような重症な症状を呈することがあります。

この過程の中でワクチンが予防効果をもつといわれているのは④と特に⑤です。つまり①・②に関してはワクチンで防ぐことはできないため、まずウイルスを近づけないように手洗い、うがいなどが重要となります。



しかし、世界に流行が広がり、人々が新型インフルエンザに対して免疫を持つにつれ、新型インフルエンザも季節性インフルエンザと似た性質となり、季節的な流行を繰り返すようになります。2009年に流行した新型インフルエンザ（H1N1）についても厚生労働省では今年4月から季節性インフルエンザとして取り扱うことになっています。これより、今年受けるワクチンに関しても特に「新型インフルエンザワクチン」とは言わなくなりました。

インフルエンザは特に、お子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を併発するなど重症になることがあります。今後のインフルエンザ対策の重点は、このような方たちをハイリスク群として、いかに健康被害を減らせるかという点にあります。



④の発症予防に関しては65歳未満の健康人で70～90%の発症効果があるとの報告があります。また、ワクチンの最も大きな効果は⑤の重症化を予防する効果といわれており、厚生科学研究費による研究によると、65歳以上の高齢者においてはインフルエンザワクチンの接種により約45%の発病を阻止し、約80%の死亡を阻止する効果があったとしています。

また、予防効果の期間に関してですが、季節性のインフルエンザワクチンではこれまでの研究から、接種した（小児の場合は2回接種した）2週間後から5ヵ月程度と考えられています。今年度のワクチンは平成22年度のワクチンと同じものため、去年予防接種を受けた方は既にいったん免疫が獲得されたと考えられますが、時間がたつにつれ、免疫力は少しずつ低下していくため、今年度もインフルエンザワクチンの接種を受けた方がインフルエンザの予防に十分な免疫を保つためにはよいと考えられます。

point

このように、インフルエンザワクチンは打てば絶対にかからない、というものではないことをしっかり把握し、たとえかかっても病気が重くなることを防いでくれることを理解しましょう。

# 看護部

だより vol.51

今号の看護部だよりは、当院の感染管理専従看護師の仕事内容をご紹介します。

## 感染管理専従看護師の役割

感染対策を専門とする看護師として、患者さまやご家族はもちろん、職員や学生、外部委託職員など病院に出入りする全ての人を、感染から守る活動をしています。

これまで、医師、薬剤師、検査技師、看護師、事務部門で構成する感染制御チーム（ICT）の一員として、病棟の主任看護師として院内感染予防に取り組んできましたが、大学院での感染制御実践看護学講座を修了し、2011年4月より感染管理専従となり病院全体の効果的な感染予防、評価・改善に取り組んでいます。

感染対策は提供するケアに関することだけでなく、清掃などの療養環境、器材の洗浄・消毒、医療機器の選定に関する内容など、内容が多岐にわたります。また病院内のあらゆる部署で全ての職員が取り組むことが大切なため、各現場での支援や、情報発信、講習会を通し、職員の知識と対策実践力の向上に努めています。

## 主な仕事内容

病院感染対策の要となる感染制御チーム（ICT）の活動を中心に、主に下記のような仕事をしています。日常の管理と、院内感染発生・増加時の迅速な対応が求められます。ICTで常に話し合いながら定期・臨時の病院感染対策委員会（各部門代表が参加）で提言し、病院全体の情報・方針の共有と周知徹底を図っています。

### ● 病院内の巡回とコンサルテーション

ICTの定期巡回と会議（週1回）の他、毎日病棟を巡回し、感染事例の把握、感染対策の実施状況の把握と指導を行います。

手術部位感染や抗菌剤使用について検討するための巡回も行っています。

清掃委託職員との定期巡回では、実施状況を共有し改善と維持に努めています。



### ● 微生物検査結果の把握と分析

発生状況や発生率に関する分析、評価を行い、効果的な感染対策につなげます。

### ● 広域抗菌薬などの投与量・投与期間の把握と適正使用の推進

### ● 感染対策に関するマニュアルの整備、速報の発信

### ● 看護部感染対策チーム（リンクナース会）の運営、コンサルテーション

### ● 全職員対象の感染対策に関する講習会の開催、各職種別研修会の開催



### ● 職員の健康管理（予防接種、感染症発生と就業状況の把握等）

### ● 地域医療機関や介護施設との連携（講習会や相談対応）

## 今後の抱負

専従看護師として歩き始めたばかりで、日々勉強しながら手探りで進んでいる状態です。今後も感染対策について知識を深め、職員が高い関心を持って取り組めるよう情報発信を行い、患者さまやご家族が安心して医療を受けられる環境づくりに努めてまいります。

感染管理専従看護師  
主任 森山 由紀



# 頼る!! まちの医療機関

さとう内科クリニック  
内科・健康相談・漢方診療

かずひさ  
院長 佐藤 員久 先生



こともあります。自由診療ですと経済的負担が大きいので、基本的に保険診療のものを使用しております。

●菊名記念病院との今後の連携について

菊名記念病院の一番の特徴として「フットワークの軽さ」だと私は考えております。例えば大きな病院に紹介した場合、診察を受けるまでに何時間、次の検査までに何時間、もしくは何日も先…というように患者さまの生活を縛ってしまうことがあります。クリニックではできないことを代わりに迅速に対応してもらい、患者さまの満足度を上げていければと思います。

さとう内科クリニック

- 診療科目：内科・健康相談・漢方診療
- 診療日時：AM9:00～12:30 PM14:30～18:00
- 休診日：水曜・土曜午後・日曜・祝日
- 所在地：神奈川県横浜市鶴見区駒岡 5-5-12-301  
東急東横線 綱島駅より徒歩20分
- TEL：045-573-5419  
FAX：045-573-3119

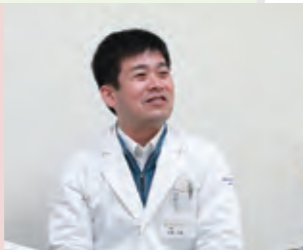


- 診療にあたり心がけていること  
プライマリケアを全うしたいと考えています。  
総合診療内科医として地域の皆様と最初に接する立場にあるので、患者さまが次にどのような診療をしていけば良いのか迷わないように「みちしるべ」のような役割になれるように心がけて、診療にあたっています。
- 患者さまの生活を第一に  
診療予約を取らなくても大丈夫なので飛び込みの患者さまも多いです。また、当院では当日に結果がわかる生化学検査（腎機能・肝機能・メタボリック・糖尿病（HbA1c）等も行ってあります。患者さまがクリニックに足を運ぶことが負担にならないように意識しています。
- 漢方診療について  
最新の医学知識を駆使しても分からない症状を漢方治療を行い、ニュートラルな部分から糸口を見出していく

赤尾内科クリニック

内科・呼吸器内科  
腎臓内科・訪問診療

院長 赤尾 正樹 先生



てくる点だと思えます。患者さまの住み慣れた環境での治療にもやりがいを感じます。ここは昔ながらの住宅街なので寝たきりの患者さまや足腰が悪くて通院が難しい患者さまも少なくありません。将来的には妻がクリニックで外来を、私が訪問診療をメインに行なって地域の方のお役に立ちたいと考えています。

●地域の方へメッセージ

当院は2011年9月に開院したばかりのクリニックです。地域のかかりつけ医として健康管理のお手伝いを一生懸命していきます。

赤尾内科クリニック

- 診療科目：内科・呼吸器内科・腎臓内科・訪問診療
- 診療日時：AM9:30～12:00 PM15:00～19:30  
水曜 PM15:00～17:00
- 休診日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- 所在地：神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢下町 11-22  
市営地下鉄「三ツ沢下町駅」より徒歩1分
- TEL：045-548-3163  
FAX：045-548-3183



- 診療にあたり心がけていること  
丁寧にお話を聞き、分かりやすい説明を心がけています。一貫性ある診療が理想ですが、当院だけで診断や治療が追い付かない時は速やかに病診連携を図りたいと思っています。
- 他の医療機関に比べて充実している点  
在宅療養支援診療所ですので訪問診療に力を入れています。在宅酸素療法や在宅人工呼吸器をしている患者さまに対して血液ガス検査を素早く行ったり、ポータブルな機械を揃えて在宅でできる検査を充実させています。また、妻が腎臓内科医ですので保存期腎不全の患者さまを外来で診察しています。腎臓内科を標榜しているクリニックは多くありませんので当院の強みの一つとなっています。
- 積極的に訪問診療を  
訪問診療の醍醐味は治療内容の効果がすぐに目に見え

## KMH NEWS

菊名記念病院のホットなニュースをご紹介します!

### NEWS Skill up Seminar、病診連携親睦会 in 新横浜国際ホテル

11月21日に行われたスキルアップセミナーは新横浜国際ホテルにて行われました。題目は「アジア・パシフィック地域における動脈硬化性疾患の現状と脂質マネジメントの方向性」中国では主食の欧米化に伴い急激な肥満度の増加傾向がみられました。アジア人は欧米人よりも脂肪がつきやすい体質だという事がわかりました。適度な運動を習慣づけましょう。



### NEWS キャンドルサービス

毎年恒例！  
12月21日に当院にて、キャンドルサービスが行われました。入院されている患者さまに少し早いクリスマスを楽しんでいただけたと思います。1日でも早い回復をお祈りしています。



### NEWS 12/26 もちつき大会

つきたてのおもちは来院された患者さま、職員においしく召し上がっていただきました。



### NEWS 2012年菊名記念病院 糖尿病教室 年間予定表

	日付	テーマ	医師	栄養科・その他	医療技術者	司会
1	1/17 第3火曜日	総論	辻先生	糖尿病の食事療法① 「食事療法のポイント」	「低血糖シック デイト何？」 看護部	検査
2	3/27 第4火曜日	治療	辻先生	糖尿病の薬について 薬剤部	自己血糖測定 について 臨床検査科	看護
3	5/15 第3火曜日	合併症① 神経 腎臓	腎臓内科 医師	糖尿病の食事療法② 「バランスの良い 食べ方とは？」 ～3食への配分と 献立作成上のポイント～	糖尿病の機能性 食品について 臨床検査科	薬剤
4	7/17 第3火曜日	合併症② 心臓 血管 眼	循環器科 医師	糖尿病の食事療法③ 「間食及び外食の エネルギーと問題点」	運動について （実技） リハビリ テーション科	薬剤
5	9/20 第3火曜日	ランチョン セミナー 事前 申し込み制	辻先生	糖尿病の食事療法④ 「糖尿病食体験 ～糖尿病の食事を 食べてみましょう～」	運動について （話） リハビリ テーション科	看護
6	9/20 第3火曜日	合併症③ 足	辻先生	糖尿病の食事療法⑤ 「年末年始の食生活」 ～注意点と工夫～	フットケア 看護部	薬剤

※内容は都合により変更になる場合があります。詳しい内容や日時については当院ホームページ・院内ポスター掲示またはスタッフにお問合わせください。http://www.kmh.or.jp



## ■ 平成23年11月12日 当院関連医療グループ(IMS) 第1回事務学会 優秀賞受賞

当院の地域医療連携室 小村 賢一郎氏の演題は優れた報告と認められ、優秀賞を受賞しました。

「当院におけるインターネットを利用した医療連携～医療情報共有ネットワークの紹介～」という報告をしました。また、地域医療連携室 黒川 智氏、医事課 藤中 敏裕氏も報告を行いました。各医療グループとの発表を交し合い貴重な時間を得る事が出来たと思います。



## ■ 菊名記念病院改修工事のお知らせ ～経過報告～

平成23年11月1日から平成23年12月31日までに行った改修工事の経過をお知らせ致します。

- ・駐車場のアスファルト舗装工事（12月中旬無事完了）
- ・正面玄関入口をバリアフリー化（12月下旬無事完了）
- ・駐車場パークロック設備工事（12月下旬無事完了）

### 駐車場精算機の精算システム変更のお知らせ

- ・精算機は千円札以外のお札は使用できません。
- お手数ですが初診受付にて1万円・5千円の両替が可能です。  
両替の際はお声をお掛け下さい。

### 平成24年からは内部工事を中心にを行います。

ご来院されるみなさま、工事に伴い騒音等影響のある工事も出てくると思いますので、ご迷惑をお掛け致しますがご理解ご協力の程宜しくお願い致します。



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。私が入職してから1年が経過しました。昨年は、はじめての20周年誌、年報誌制作に無我夢中で取り組んでまいりました。今年は広い視野と高いアンテナを持って、昨年はできなかったような新たなことに挑戦していきたいと思っております。

さて、ひかりの表紙は、今号より職員が撮影した写真を使用しています。提供していただいた画像診断部の金井さん、心より感謝申し上げます。3月号より職員公募となりますので、中身と併せてお楽しみいただければ幸いです。

本年もよろしくお願い致します。

佐藤

## 当院の基本理念

私たちの病院の使命—Mission—

質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。



日本医療機能評価機構  
認定病院 (Ver.6.0)



JQA-QMA14243  
ISO9001:2008  
認証取得病院



ピンクリボン運動  
を応援します。



地域医療支援病院  
**菊名記念病院**

〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-4-27  
TEL : 045-402-7111(代) FAX : 045-432-2742  
URL : <http://www.kmh.or.jp/> E-mail : [kikuna@kmh.or.jp](mailto:kikuna@kmh.or.jp)